

## 【解答への手引き（テーマ説明文）】

今回の話題は、仮想通貨についてです。本年1月に大手取引所「コインチェック」から時価約580億円の仮想通貨が流出した事件は、まだ記憶に新しいところでしょう。仮想通貨というと、インターネット上で取引されるデジタルのお金のようなもの、という一般的認識はあるかと思いますが、実際のお金や株式などその他の金融商品との違いは何でしょうか。普及し始めてから間もないこの仮想通貨は、不公正な取引などを取り締まる規制が未だ十分に整備されていないのが現状です。今回の問題では、利用者保護の観点からの規制強化に焦点を当てています。

英文自体は専門用語を除いて難易度の高い単語や構文はほとんどなく、基本的な難易度となっています。経済分野特有の話題性に注意しながら読み進めてみましょう。

※ 【追記】本長文問題執筆時の仮想通貨の時価総額等について

この問題作成時点（2018年3月27日）での仮想通貨時価総額は約2679億ドル、約28兆円（円為替相場：1ドル＝105.4円台）となっています。コインチェックは3/22時点で金融庁に利用者保護を徹底するための業務改善計画を提出しています。依然として今後の動きにも注目が集まります。

## 【解答】

問1 ① イ ② エ ③ ウ ④ ア

問2 (A) ア (B) イ (C) イ (D) エ

問3 ウ

問4 エ

問5 第3番目: will 第6番目: is

問6 仮想通貨があまりに普及してきているため、その取引を禁止することは財産権の侵害となる可能性があり、非現実的である。

問7 ア、オ

## 【設問解説】

問1 語彙問題。下線部の語と同じ意味の日本語を選ぶ問題です。

- ① 正解はイです。perspective は「観点、物事の見方、視点」といった意味を持つ名詞です。前後の文脈は、「投資家を保護するという〇〇から仮想通貨についての規制を見直す」という流れになっており、意味としてふさわしいのはイだと分かります。
- ② 正解はエです。名詞の interest は普通、「興味」という意味で知っていると思います。形容詞の interesting と並び、ごく基本的な単語ですが、ここでは「興味」ではなく、「利息」という意味で用いられています。
- ③ 正解はウです。speculation は本来、「推測、思索」の意味の名詞ですが、こ

ここでは「(株式などへの) 投機」のことを指しています。前後の文脈を考慮すると、「仮想通貨は事実上、speculation のために用いられる金融商品である」とのなることから、その他の選択肢だと意味が通りにくくなります。

- ④ 正解はアです。underpin もあまり目にする事のない語ですが、文構造から動詞であることを推測したいところです。また、underlie 「～の下に横たわる、～の基礎となる」などの動詞から推測するなど、under 「=の下の」の接頭辞の意味を大切にすると語の推測がしやすいでしょう。

問2 空所補充問題。文脈に合わせて、空所に適した語を選択する問題です。

- (A) 正解はアです。administrative は「行政(上)の」などの意味を表す形容詞です。文脈より、「もし違反した場合、金融庁は業務改善命令などの〇〇処分を出す」という内容からも、「行政処分」といった語があてはまる事が推測できます。イの domestic は「国内の」、ウの medical は「医療の」、エの statistical は「統計上の」という意味です。
- (B) 正解はイです。「原則として」の意味の in principle が空所に入ります。顧客の救済制度として、「預金者ごとに原則として1000万円が関係業者の基金から支払われる」と述べられています。その他の選択肢は、アの in advance が「前もって」、ウの on purpose は「わざと、故意に」、エの with ease は「容易に」の意味で、いずれも文脈に合いません。
- (C) 正解はイです。manipulation は名詞で「巧みに操ること、操作」の意味を表します。market manipulation で「相場操縦」の意味です。「政府は相場操縦やインサイダー取引などに対する規制を整備すべきである」との文脈です。アの duration は「持続時間」、ウの recovery は「回復」、エの transition は「推移、変遷」という意味です。
- (D) 正解はエです。sound は「音」の意味の名詞でよく知られていますが、「健康な、健全な」の意味の形容詞としても用いられることを覚えておきましょう。直前の virtuous circle が「好循環」の意味になることも大きなヒントになります。「このような好循環を実現するためには、市場の健全な発展が不可欠である」という文脈です。アの blank は「白紙の」、イの contemporary は「同時代の、現代の」、ウの hostile は「敵意のある」という意味です。

問3 文内容把握問題。正解はウです。仮想通貨取引所に対して義務づけられている要件については、本文第3パラグラフに述べられています。それによれば、(1)関係各局に登録を受ける、(2)顧客にリスクを説明する、(3)顧客と取引所の資産を分別管理する、(4)口座開設時に本人確認をする、の4つが要件として確認できます。選択肢のうち、これらと合致するのはウのみで、あとは部分的に似ているように見えますが、まったく違った内容になっています。

問4 文内容把握問題。正解はエです。選択肢の文はどれも本文で述べられている内容ですが、エは仮想通貨の「問題点」ではなくブロックチェーンの「利点」について述べられています。詳しくは下記の選択肢和訳を参照して下さい。

<各選択肢の和訳>

- (ア) 預金や株式の場合は顧客の資産を保護する仕組みがあるのに対し、仮想通貨の場合は同様の救済制度がない。
- (イ) 仮想通貨は事実上、金融商品のようなふるまいを見せているが、不公正な取引に対する規制の整備が遅れている。
- (ウ) 日本では、中国のように仮想通貨を全面的に禁止することは、そのような規制強化に対する反対意見が多く起こることから考えても不可能である。
- (エ) 仮想通貨取引の基盤技術となるブロックチェーンは、日本経済の成長の先導者となる可能性が高い。

問5 語句整序問題。正しく並べ替えた英文は、**when the refunds will take place is unclear** です。下線部前半は、「コインチェックはこれまでに、自己資金で約 460 億円を補償する方針を示している」となっています。後半の並べ替え部分の冒頭は接続語 **but** で始まっているのも後半の方向性を推測する上で大きなヒントになります。**when** や **the refunds** 「資金の返還」、**take place** 「発生する、行われる」、**unclear** 「明らかでない」などの語があることから、「(補償の方針ではあるものの、)いつ返還が行われるかがはっきりしていない」という文になることが想像できます。これに合わせて語を並べ替えると上記のようになります。**when the refunds will take place** が名詞節の **S** となり、**is** が **V**、**unclear** が **C** という第 2 文型を形作っています。

問6 下線部和訳問題。文の骨格である **so ~ that ...** 構文「あまりに～なので…」がポイントです。前半の「仮想通貨はあまりに普及してしまっている」という文と、後半の「仮想通貨の取引を禁止することは非現実的だ」という文とを **so ~ that ...** 構文でつないでいけばよいと分かれば、大半はできあがったようなものです。**because** 節は **that** 以降を修飾し、「財産権の侵害となる可能性があるため」と訳します。**spread** は「広がる、拡散させる」、**unrealistic** は「非現実的な」、**prohibit** は「禁止する」。直後の **their** は仮想通貨を指す所有格代名詞です。また、**property rights** は「財産権」。以上より、「仮想通貨があまりに普及してきているため、その取引を禁止することは財産権の侵害となる可能性があり、非現実的である」などといった和訳が完成します。

問7 内容把握問題。各選択肢の文内容を正しく捉え、本文中のどこに言及があるのかを確かめながら適切な答えを選ぶ問題です。

- (ア) 正解：本文第 5 パラグラフ参照。日本は早くから仮想通貨取引所の登録制を

導入するなどの措置をとっており、先進国の中でも先導的立場となっていることが述べられています。

- (イ) 誤り：本文第 7 パラグラフ参照。選択肢は大筋本文と合致しているのですが、本文には元本 1000 万円だけでなく、その利息も保護されると書かれている点が選択肢の内容と異なります。
- (ウ) 誤り：本文第 9 パラグラフ参照。選択肢前半の「仮想通貨には顧客の救済制度がない」という部分は正しいのですが、後半の「政府が金融庁に対して業務改善命令を提出する見通しである」という内容は本文中に記載がありません。
- (エ) 誤り：本文第 14～15 パラグラフ参照。選択肢とはまったく逆で、日本国内では仮想通貨が普及したため、中国のような事実上仮想通貨を禁止するような強い規制に対しては反対の声が大きくなるだろう、と述べられています。
- (オ) 正解：本文第 16 パラグラフ参照。仮想通貨取引の基盤技術であるブロックチェーンの発達について述べられています。